

# 2006年度 環境活動レポート

## (2006. 4~2007. 3)



**大幸薬品株式会社**

# 大幸薬品株式会社

## 環境方針

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、当社の経営理念に基づいて、環境への取り組みを重要課題と認識し、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の医薬品製造販売の事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

### < 環境保全への行動指針 >

- 1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2．環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
- 3．具体的な取り組みとして次のことを推進します。

脱地球温暖化社会のための省エネルギー

循環型社会のための省資源、廃棄物の削減

事務用品のグリーン購入

- 4．当社のために働くすべての従業員にこの環境方針を周知します。

2006年4月1日

代表取締役社長 柴田 仁

## 事業所の概要

(名称・所在地・事業内容等は、2007年4月のデータに基づく。)

### 1. 事業者名及び代表者名

大幸薬品株式会社  
代表取締役社長 柴田 仁

### 2. 関連事業所

本社：〒564-0032 大阪府吹田市内本町3丁目34番14号  
TEL:06-6382-1021

関東営業所：〒142-0054 東京都品川区西中延1丁目7番3号  
TEL:03-5749-1021

北部営業所：〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町2番3号 TR 仙台ビル5階  
TEL:022-727-0782

中部営業所：〒465-0026 愛知県名古屋市名東区藤森1丁目2番  
TEL:052-760-1571

九州営業所：〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 JPR 博多ビル8階  
TEL:092-411-1947

第2工場：〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7番71号  
TEL:06-4860-5870

対象範囲外

鳴尾浜倉庫：〒812-0011 兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番20号

### 3. 環境保全関係の責任者および事務局連絡先

環境管理責任者：生産本部 松島 伸行 TEL:06-6382-1023 FAX:06-6382-3084

環境事務局長：管理本部 田中 祥介 TEL:06-6382-1026 FAX:06-6382-1035

### 4. 事業内容

一般用医薬品、医薬部外品の製造販売

二酸化塩素除菌消臭剤の開発販売

健康補助食品、その他商品の企画販売

### 5. 事業規模

製品出荷額 55.5億円(2006年度実績)

従業員数 158人

工場延べ床面積 12,950㎡

## 環境目標とその実績

当社における環境目標と実績は、次のとおりです。

### 【実績】

項目		年度			
		2003年	2004年	2005年	
CO <sub>2</sub> 排出量	電力	総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	427,831	499,080	447,552
		製品出荷額当たり (kg-CO <sub>2</sub> /億円)	8,382.3	9365.4	8071.3
	自動車燃料	総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	185,791	129,234	142,230
		製品出荷額当たり (kg-CO <sub>2</sub> /台/億円)	3,640.1	2,425.1	2,565.0
		1台当たり (kg-CO <sub>2</sub> /台)	-	3,062.4	2,838.9
	製品出荷額当たり (kg-CO <sub>2</sub> /台/億円)	-	57.5	51.2	
廃棄物量	一般廃棄物	総量 (ト/年)	79.0	79.4	79.4
		製品出荷額当たり (ト/億円)	1.55	1.49	1.43
	産業廃棄物	総量 (ト/年)	13.6	19.0	19.0
		製品出荷額当たり (ト/億円)	0.27	0.36	0.34
	総量	総量 (ト/年)	92.7	98.4	98.40
	製品出荷額当たり (ト/億円)	1.82	1.85	1.77	
総排水量	総量 (m <sup>3</sup> /年)	9,090	9,502	8,598	
	製品出荷額当たり (m <sup>3</sup> /億円)	171.7	186.2	155.1	

### 【目標】

項目		年度			
		2005年 (実績)	2006年 (目標) (実績)		
CO <sub>2</sub> 排出量	電力	総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	447,552	443,076	457,496
		製品出荷額当たり (Kg-CO <sub>2</sub> /億円)	8071.3		8,243.2
	自動車燃料	総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	142,230	139,386	121,253
		製品出荷額当たり (Kg-CO <sub>2</sub> /億円)	2,565.0		2,187.7
		1台当たり (kg-CO <sub>2</sub> /台)	2,838.9	2782.1	3,730.9
	製品出荷額当たり (kg-CO <sub>2</sub> /台/億円)	51.2		67.2	
廃棄物量	一般廃棄物	総量 (ト/年)	79.4	75.4	35.4
		製品出荷額当たり (ト/億円)	1.43		0.64
	産業廃棄物	総量 (ト/年)	19.0	18.1	16.3
		製品出荷額当たり (ト/億円)	0.34		0.29
	総量	総量 (ト/年)	98.4	93.48	51.7
	製品出荷額当たり (ト/億円)	1.77		0.93	
総排水量	総量 (m <sup>3</sup> /年)	8,598	8.426	11,204	
	製品出荷額当たり (m <sup>3</sup> /億円)	155.1		201.9	

環境目標は、3～5年分を記載することになっていますが、第2工場のデータ収集ができ次第、更新審査時に追加します。

上記の目標のほか、以下の取組みを推進します。

- ・ グリーン購入の推進

## 主要な環境行動計画の内容

数値目標を達成するために、以下の取組みを実施しています。

### 【電力の削減】

- ・ 節電運動の実施
- ・ 省エネルギータイプのパソコン導入

### 【ガソリンの削減】

- エコドライブ運動
- ・ アイドリングストップ
  - ・ 急発進の抑制
  - ・ 冷暖房の控えめ使用
- 燃費測定

### 【廃棄物の削減】

- ・ 3R 運動の実施
- ・ 分別回収の徹底
- ・ 廃棄方法の見直し

### 【節水】

- ・ 節水運動の実施

## 環境活動の取組み計画と評価

今年度の取組み計画と評価は下記のとおりです。

取組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節電運動</li> <li>・ パソコンの入れ替え</li> </ul>	目標：443.076 kg-CO <sub>2</sub> 実績：457,496 kg-CO <sub>2</sub> 達成度：未達	第2工場稼働準備などにより、前年より電力需要が増え、未達となった。2007年度においては、電気の適正使用を推進するとともに、節電意識を一層高める必要がある。
ガソリンの削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイドリングストップ運動</li> <li>・ 急発進の抑制</li> <li>・ 冷暖房の控えめ使用</li> </ul>	目標：99.9L/台/月 （231.8kg-CO <sub>2</sub> ） 実績：133.9L/台/月 （310.9 kg-CO <sub>2</sub> ） 達成度：未達	社用車の保有台数を50.1台 32.5台へ減数させ、稼働率を高めた。一台あたりの使用量は増加したが、総量は年間目標60,037Lより7,810L少ない52,227Lと、削減に成功した。今後もエコドライブ運動の徹底に努めるとともに、保有台数の適正化を図る。
廃棄物削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3R運動</li> <li>・ 分別回収の徹底</li> <li>・ 廃棄方法の見直し</li> </ul>	目標：93.5 トン 実績：51.7 トン 達成度：達成	ゴミの分別が徹底したこと、ペーパーレス、両面コピーがかなり浸透したことにより、一般用ゴミがほぼ1/2と驚異的に減少した。今後も、ゴミ削減意識を持って取り組む。
節水 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水運動</li> </ul>	目標：8,426 m <sup>3</sup> 実績：11,204 m <sup>3</sup> 達成度：未達	10月から1月にかけて、使用量が急に増したため調査したところ、配管から漏水が発見された。月々の水道使用量が前年より相対的に多くなったことは、節水意識の向上をますます高める必要がある。
事務用品のグリーン購入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーン購入運動</li> <li>・ 事務用品のグリーン購入推進</li> </ul>	目標：グリーン購入 実績：グリーン購入 達成度：達成	事務用品にグリーン用品があれば、支障がない限り、その商品を選択した。今後も、意識しグリーン購入を行う。
<b>総括</b> 2年目の取組としては、初年度と同様に社員の意識向上をメインに実施した。初年度と異なり、息切れした面もあったが、ゴミの減量は驚くほどの効果があがった。逆に、節水に関しては、漏水というアクシデントがあったためとはいえ、前年比36%増となり、大きく後退してしまった。 2006年度に、倉庫として使用していた第2工場が稼働を開始した。3年目の2007年度においては、基準値の見直しを行う必要がある。社員には、より一層『エコ』を意識した生産活動が行えるよう、今後の取組みへ尚一層の協力を求めたい。また、自社のみではなく、取引会社、近隣環境をも含め『エコ』について考えていきたい。		

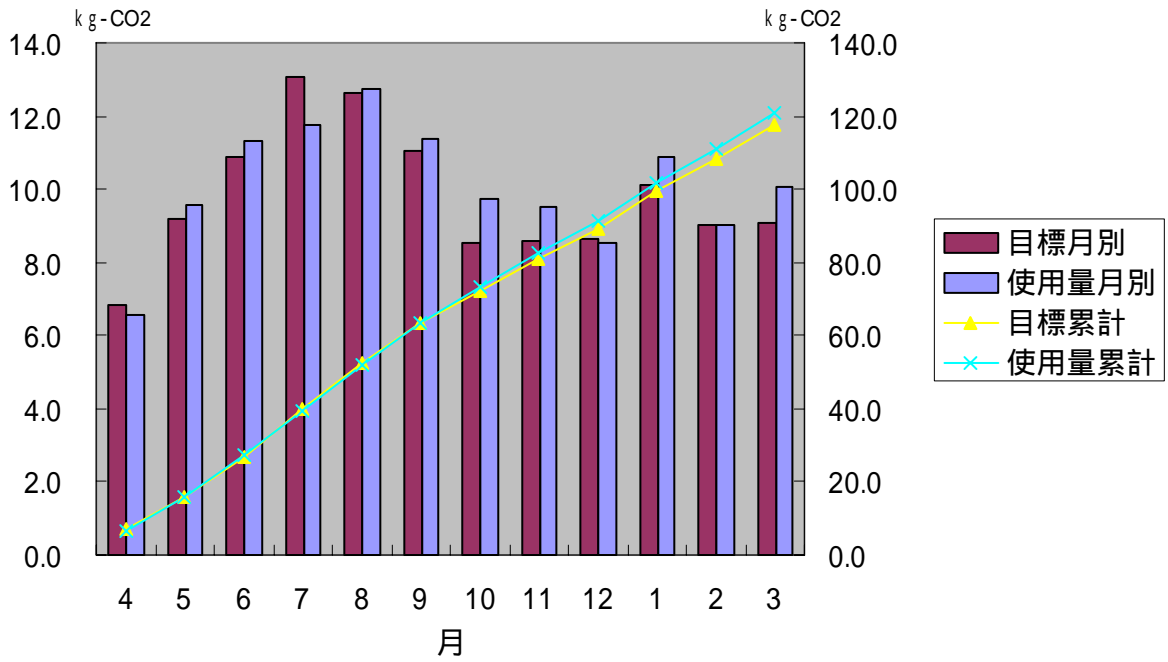


図1 目標電力量と使用電力量

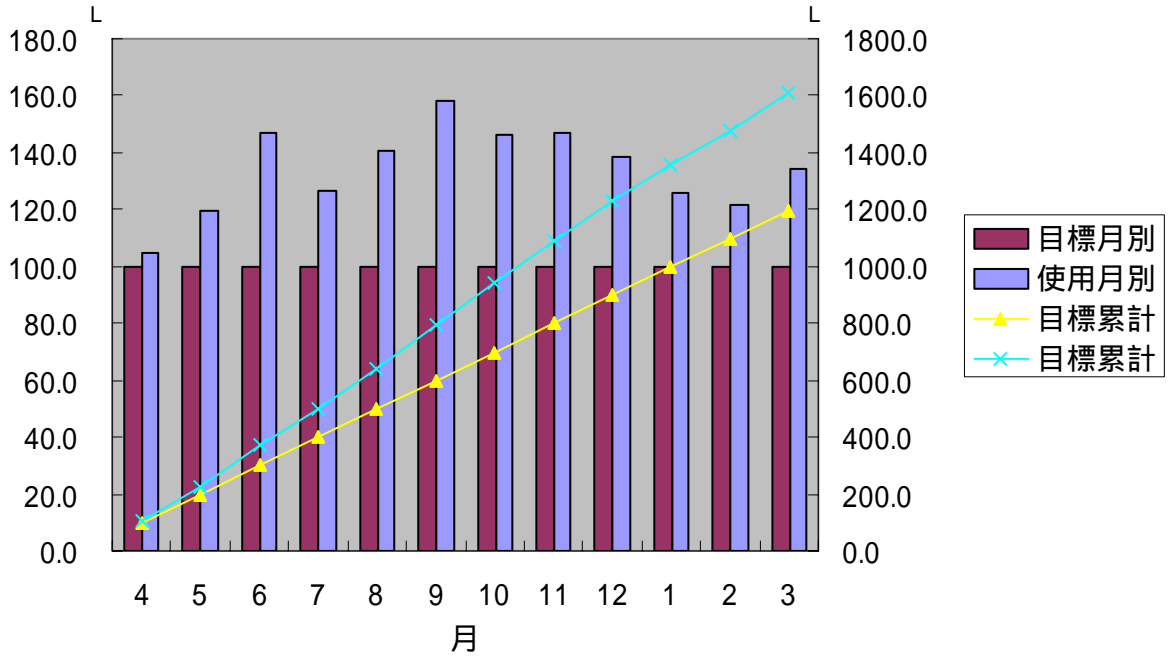


図2 目標ガソリン量と使用ガソリン量  
(1台あたり)

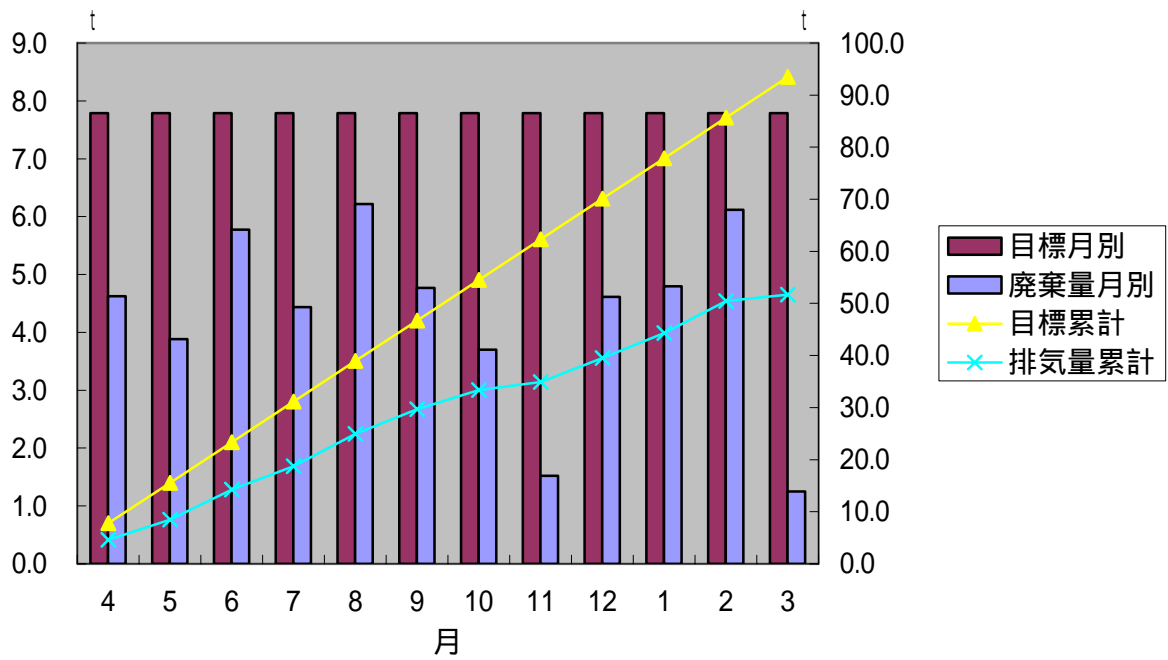


図3 目標廃棄物量と実際の廃棄物量

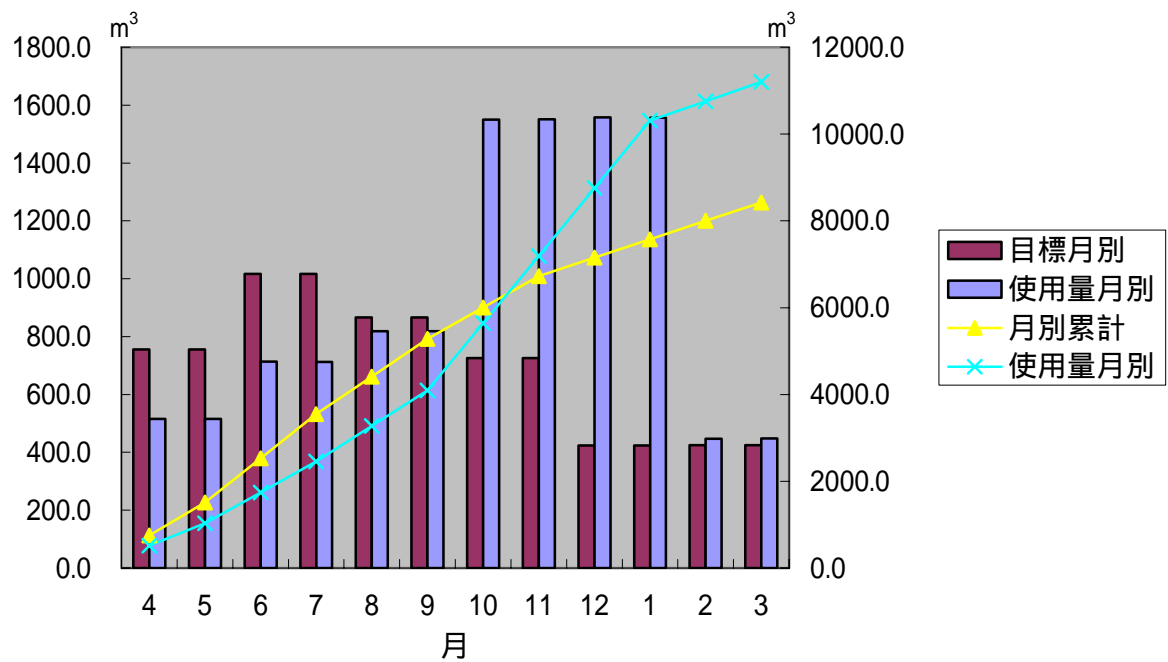


図4 目標水道量と使用水道量



## 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	汚泥、廃プラスチック、蛍光灯、殺菌灯、乾電池、廃酸、 廃アルカリ、廃油、感染性廃棄物、実験動物
消防法（危険物）	クレオソート、濃グリセリンの管理
PRTR 法	フェノール、クレゾールの届出
容器リサイクル法	製品容器使用数量の届出

環境関連法規制等に関する順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。  
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上